変額保険グローバルミックス

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

月次運用レポート

2010年2月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社



アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や 投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式 のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

	資産		利 用 す る 投 資 信	託
配分	比率		投資信託名	委託会社
			アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
株式		日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
が正し	0070	基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動		アクサ·ローゼンバーグ 証券投信投資顧問株式会社
		向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社特別勘定運用部が行いま	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
債券	50%		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しない ことがあります。

変額保険

特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに - 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。 情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2010年2月

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前月末比 0.78%下落の894.10ポイントで終了しました。 上旬は堅調な米経済指標を好感して上昇基調で始まりましたが、中旬にか

上旬は堅調な米経済指標を好感して上昇基調で始まりましたが、中旬にかけてギリシャの財政悪化懸念を背景とした円高や大手自動車会社のリコール問題などを嫌気して下落りました。その後、外国株式市場の上昇やEUがギリシャの財政再建計画を承認したことなどを受けて上昇に転じたものの、米国の公定歩合の引き上げや景気の先行き不透明感の強まりなどから売り優勢の展開となり月末を迎えました。

業種別(東証33業種)では、決算での業績回復を受けて「ゴム製品」 (前月末比+7.50%)が最も上昇した一方、任天堂の下落により「その他製品」(同 4.03%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇し、NYダウは前月末比+2.56%上昇の10,325.26ポイントで終了しました。上旬は、1月米ISM製造業景況指数および1月米鉱工業生産指数の改善などを受けて堅調に始まったものの、ギリシャの財政悪 仏懸念などを受けて下落に転じました。その後、EUがギリシャ支援に合意したことなどを好感して上昇しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)による公定歩合の引き上げなどを嫌気し、月末にかけてやや軟調に推移しました。

欧州株式市場は、上旬は米国とほぼ同様の動きとなりましたが、その後、中国の金融引き締め懸念やギリシャの財政悪化懸念などを嫌気し、イギリス・スイスなどを除く主要国の株式指数は概ね下落しました。市場別騰落率は、英FT100は前月末比+3.20%上昇、仏CAC40は同 0.82%下落、独DAXは同 0.18%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、強弱交錯する経済指標を背景に方向感に欠ける展開となり、新発10年国債利回りは1.300%となりました(前月末は1.315%)。 上旬は、米国金利の上昇に追随したことなどから、一時1.3%台後半に上昇しました。しかしその後、日経平均株価が10,000円を割り込んだ局面では買い優勢の展開となり1.3%台前半に低下しました。下旬にかけては、ギリシャの財政悪化懸念などから株式市場が下落したことや円高などを受けて、1.3%近辺まで低下しました。

日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。 無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、中旬には公定歩合の引き上げを受けて金利は上昇しました。しかし、下旬にかけて、2月の消費者信頼感指数や住宅関連指標が低調だったことや、FRBが低金利政策の継続を表明したことなどが買い材料となり、米10年国債利回りは、月末には3.612%となりました(前月末は3.584%)。

欧州債券市場は、ギリシャの財政悪化懸念などを背景に先行きの景気への 懸念が強まったことを受けて、金利は低下しました。下旬にかけて、ドイツの 2月!(企業景況感指数が事前予想に反して悪化したことなどからECB(欧州 中央銀行)は政策金利を当面は現在の低水準に維持するとの見方が高まった ことなどが買い材料となり、独10年国債利回りは、月末には3.101%となり ました(前月末は3.196%)。

ました(前月末は3.196%)。 FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0 25%を維持しました。ECBは政策金利を据え置き、年1.0%を維持しました

【外国為替市場】

米ドル/ 円相場は、米国の公定歩合の引き上げから一時米ドルが買われる局面もありましたが、下旬にかけてはギリシャの財政悪化懸念などを背景としたリスク回避の動きなどから、円が買われる展開となりました。円は対ドルで前月末比0円34銭(+0.38%)円高ドル安の1ドル=89円43銭となりました。ユーロ/円相場においてもギリシャの財政悪化懸念などを背景にしたリスク回避の動きから、円高ユーロ安となりました。円は対ユーロで前月末比3円78銭(+3.02%)円高ユーロ安の1ユーロ=121円21銭となりました。

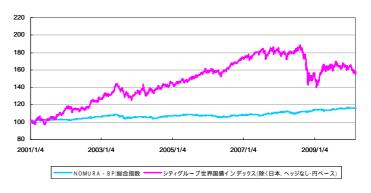
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

変額保険

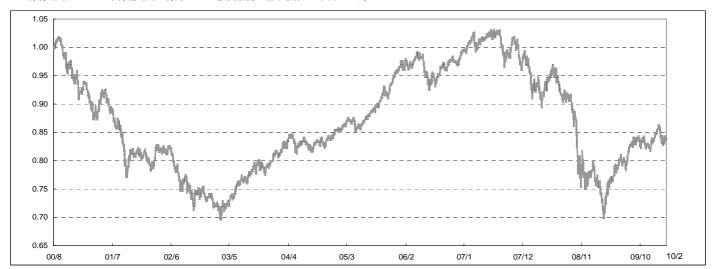
特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年2月 末日現在]

特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2010年2月末	2010年1月末	2009年12月末	2009年11月末	2009年10月末	2009年9月末
INDEX	0.837	0.837	0.847	0.821	0.830	0.838
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率(%)	0.07	1.97	0.25	14.49	17.02	16.27

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・コールローン	666,201	2.0
その他有価証券	32,725,123	98.0
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	3,307,611	9.9
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	4,958,831	14.9
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	5,149,322	15.4
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	3,299,675	9.9
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	16,009,682	47.9
合計	33,391,325	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。) 今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- 資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は -切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年2月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が 高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.00%	6.70%	7.97%	16.82%	46.80%	28.52%
BM	0.78%	6.45%	7.42%	18.16%	48.99%	39.69%
差	0.22%	0.25%	0.55%	1.34%	2.19%	11.17%

マザーファンド受益証券の詳細情報

	業種別構成比率	
	業種	マザーファンド
1	電気機器	15.71%
2	輸送用機器	12.61%
3	銀行業	7.88%
4	卸売業	7.76%
5	情報·通信業	5.77%
6	化学	5.56%
7	医薬品	3.83%
8	機械	3.79%
9	その他業種	35.53%
10	現金等	1.57%
	合計	100.00%

組入上位10銘柄

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。
投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の開業売しウ酸の投資ウルには用かります。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)^{*1}です。 ・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	94.23%
2	大阪証券取引所第一部	4.21%
3	現金等	1.57%
	合計	100.00%

	銘柄	業種	マザーファンド			
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.79%			
2	本田技研工業	輸送用機器	2.83%			
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.67%			
4	キヤノン	電気機器	2.50%			
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.26%			
6	三菱商事	卸売業	1.89%			
7	武田薬品工業	医薬品	1.70%			
8	パナソニック	電気機器	1.23%			
9	ソニー	電気機器	1.16%			
10	日本電信電話	情報·通信業	1.15%			
	合計					
	組入銘柄数					

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

担資信託の騰落率は前月末比 1.00%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 0.78%となりました。 当月の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託は、これらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。 委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、上昇した事務機器を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した自動車を多めに保有していたことや、上昇した電力、トイレタリーを少なめに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落したパナソニック(6752)や東海理化電機製作所(6995)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落したパナソニック(6752)や東海理化電機製作所(6995)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落したパナソニック(6752)や東海理化電機製作所(6995)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、 独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳 細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- 資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は -切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況 [2010年2月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が 高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.84%	6.91%	7.81%	15.42%	51.67%	16.11%
BM	0.78%	6.45%	7.42%	18.16%	48.99%	30.65%
差	0.06%	0.46%	0.40%	2.73%	2.68%	14.54%

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	17.20%
2	輸送用機器	14.21%
3	医薬品	7.10%
4	卸売業	6.54%
5	小売業	6.24%
6	情報·通信業	5.52%
7	化学	5.50%
8	銀行業	4.62%
9	その他業種	32.23%
10	現金等	0.83%
	合計	100.00%

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)*1です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

	16-811111111111111111111111111111111111	
	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	93.09%
2	大阪証券取引所第一部	3.24%
3	ジャスダック証券取引所	1.24%
4	東京証券取引所第二部	1.13%
5	大阪証券取引所第二部	0.27%
6	名古屋証券取引所第二部	0.12%
7	名古屋証券取引所第一部	0.09%
8	現金等	0.83%
	合計	100.00%

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	キヤノン	電気機器	3.77%
2	本田技研工業	輸送用機器	3.66%
3	武田薬品工業	医薬品	3.35%
4	日産自動車	輸送用機器	2.65%
5	ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2.47%
6	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.42%
7	アステラス製薬	医薬品	2.30%
8	トヨタ自動車	輸送用機器	2.16%
9	富士フイルムホールディングス	化学	2.08%
10	KDDI	情報·通信業	2.07%
	合計	26.94%	
	組入銘柄数		363銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 0.84%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 0.78%となりました。

当月の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託は、これらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに 寄与しました

寄うしないた。 委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、下落した自動車を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した事務機器を多めに保有していたことや下 落した銀行を少なめに保有していたことはブラスに寄与しました。 一方個別銘柄では、上昇したキヤノン(7751)を多めに保有していたことはブラスに寄与しましたが、下落し たキリンホールディングス(2503)やスズキ(7269)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。 当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極

的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個 別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アブローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに - 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は 一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ·米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年2月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の購落変

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	1.93%	1.38%	7.57%	41.54%	20.19%	6.61%
BM	1.69%	1.02%	7.11%	46.03%	26.48%	18.17%
差	0.24%	0.35%	0.46%	4.48%	6.29%	11.56%

マザーファンド受益証券の詳細情報

	ピングーが伸放に卒					
	セクター	マザ - ファンド				
1	エネルギー	9.86%				
2	テクノロジー・ハードウェア	9.81%				
3	医薬品バイオテクノ・ライフ	9.44%				
4	ソフトウェア・サービス	8.36%				
5	食品・飲料・タバコ	7.27%				
6	各種金融	7.25%				
7	資本財	6.43%				
8	小売	4.37%				
9	その他業種	35.76%				
10	現金等	1.44%				
	合計	100.00%				

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数² (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ペース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド		
1	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.75%		
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.64%		
3	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.17%		
4	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.15%		
5	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	2.07%		
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.77%		
7	PFIZER INC	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	1.76%		
8	HEWLETT-PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.73%		
9	MERCK & CO INC	アメリカ	医薬品バイオテクノ・ライフ	1.63%		
10	10 BANK OF AMERICA CORP アメリカ 各種金融					
	合計					
	組入銘柄数					

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

<u>当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針</u>

投資信託の騰落率は前月末比 + 1.93%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比 + 1.69%となりました。

当月の米国株式市場は、市場全体に対し比較的堅調な銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。 委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、下落した医薬品を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落した銀行および電力を少なめに保有していたことはブラスに寄与しました。 一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇したテクノロジ・ハードウェアのLEXMARK INTLを多めに保有していたことはブラスに寄与しましたが、下落したヘルスケア機器のBOSTON SCIENTIFIC CORPや医薬品のMERC 8と00を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。 当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するポトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年2月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当場容信託の勝落家

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来	
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	以处水	
投資信託	0.00%	1.17%	1.65%	35.31%	30.58%	12.62%	
BM	0.07%	1.31%	1.71%	35.43%	34.18%	23.56%	
差	0.07%	0.15%	0.06%	0.12%	3.60%	10.94%	

マザーファンド受益証券の詳細情報 国別構成比率

ファンド 27.78%
14.43%
14.20%
11.20%
6.61%
6.60%
4.72%
3.75%
9.44%
1.28%
00.00%

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(パリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数で (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	銀行	14.00%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.59%
3	エネルギー	10.01%
4	素材	9.69%
5	食品・飲料・タバコ	7.82%
6	資本財	7.25%
7	保険	6.32%
8	電気通信サービス	6.24%
9	その他業種	25.79%
10	現金等	1.28%
	合計	100.00%

組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.63%
2	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・パイ オテクノ・ラ イフ	2.48%
3	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・パイ オテクノ・ラ イフ	2.27%
4	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.21%
5	BP PLC	イギリス	エネルギー	2.13%
6	BANCO SANTANDER SA	スペイン	銀行	2.12%
7	SANOFI-AVENTIS	フランス	医薬品・パイオテクノ・ライフ	2.02%
8	SIEMĖNS AG	ドイツ	資本財	1.80%
9	ASTRAZENECA PLC	イギリス	医薬品・パイ オテクノ・ラ イフ	1.64%
10	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	オランダ	エネルギー	1.54%
	20.83%			
	260銘柄			

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比±0.00%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比 +0.07%となりました。

当月の欧州株式市場は、EPS(一株あたり利益)の変化率が高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。 委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、上昇した保険を多めに保有していたことはブラスに寄与しましたが、下落した医薬品やITハードウェアを多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。 一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇した保険のZURICH FINANCIAL(スイス)を多めにしたことはブラスに寄与しましたが、下落した銀行のBANCO BILBAO V.A.(スペイン)や電気通信のBT GROUP(イギリス)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株,を選別してポート フォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務 諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

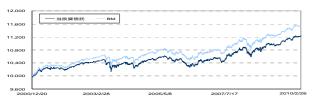
特別勘定の月次運用レポート (2010年2月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに - 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は 一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年2月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機關投資家私募 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。 外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

	過去	過去	過去	過去	過去	設定来
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	12/2/1
投資信託	0.08%	0.43%	0.99%	2.29%	6.64%	12.32%
BM	0.11%	0.51%	1.12%	2.56%	7.26%	15.61%
差	0.03%	0.08%	0.13%	0.28%	0.62%	3.29%

マザーファンド受益証券の詳細情報

貝生伸风		
	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.71 年	99.59%
国債	4.84 年	72.14%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債·財投債	5.05 年	4.49%
金融債	4.63 年	1.07%
社債等	4.21 年	21.90%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等	0.00 年	0.41%
合計	4.69 年	100.00%

* 債券先物を含みます。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合*4、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を

示す指標として用いられ金利の変化に対する

信券価格の変動率を示します。

公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	1.08%
A A	93.53%
A	5.39%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

海外格付機関の格付を優先します。 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、 国内格付機関の格付けを採用します。

組入上位10銘柄

	銘柄	国名 クーポン	償還日	格付		マザーファンド	
	亚右 们为	四台	ケーホン	[長]	ムーディーズ	S&P	マリーファント
1	第259回利付国債(10年)	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa2	AA	6.67%
2	第257回利付国債(10年)	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa2	AA	6.31%
3	第275回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年12月20日	Aa2	AA	6.09%
4	第254回利付国債(10年)	日本	1.400%	2013年9月20日	Aa2	AA	5.91%
5	第252回利付国債(10年)	日本	1.000%	2013年6月20日	Aa2	AA	5.48%
6	第269回利付国債(10年)	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa2	AA	5.25%
7	第272回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.61%
8	第273回利付国債(10年)	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.52%
9	第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa2	AA	3.45%
10	第285回利付国債(10年)	日本	1.700%	2017年3月20日	Aa2	AA	3.39%
合計							49.67%
	組入銘柄数					51銘柄	

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.70%
平均クーポン	1.42%
平均残存期間	4.92

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。 あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、 売却や償還による差損等を考慮したものでは ありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 + 0.08%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)の騰落率は前月末比 + 0.11%となりました。

2月の債券市場は、全般的に経済指標は良好でしたが、物価関連の指標は引き続き軟調になるなど、デフレであることを示しています。ギリシャの財政問題を発端に、欧州諸国の財政悪化が顕著になるなど、市場のボラティリティが高まりました。月末に向けて株式市場が軟調に推移すると、10年国債利回りは低下しました。 月末には欧州連合によるギリシャ支援が見込まれ、市場はやや落ち着きをみせました。一方、日本円は、一時円高となりました。社債市場も好転し、堅調に終わりました。当月の当投資信託は、3月頃に日銀がデフレ対策として新たな措置を実施し、その措置は長期債をはじめとする債券市場を下支えするのではないかとみているため、デュ

当月の当投資信託は、3月頃に日銀がテブレ対策として新たな措置を実施し、その措置は長期債をはじめとする債券市場を下支えするのではないかとみているため、テュ レーションを長めに維持しました。また、格付けも高く最近の財務状況も非常に良好なANZ銀行(豪)の新発債へ投資しました。

今後については、引き続き、ベンチマークに対してデュレーションを長めに維持するとともに、新発市場への投資機会を狙い、中長期的にベンチマークを上回る運用をめざします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサーピスセンター

Tel 0120-778-133

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下㈱東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。 ㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&ブアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&ブアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。 また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、 委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、 金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。 同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、 独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて

市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。<u>場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。</u>なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

	終身型		有期型		契約月別	左先和
契約日	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	運用実績 (%)	年複利 (%)
平成12年 8月 1日	1,000	-500	1,000	-443	-16.27	-1.84
平成12年 9月 1日	1,000	-506	1,000	-450	-17.51	-2.01
平成12年 10月 1日	1,000	-487	1,000	-431	-15.15	-1.73
平成12年 11月 1日	1,000	-471	1,000	-416	-13.23	-1.51
平成12年 12月 1日	1,000	-453	1,000	-398	-11.02	-1.25
平成13年 1月 1日	1,000	-436	1,000	-382	-9.05	-1.03
平成13年 2月 1日	1,000	-446	1,000	-391	-10.71	-1.24
平成13年 3月 1日	1,000	-416	1,000	-362	-6.90	-0.79
平成13年 4月 1日	1,000	-398	1,000	-345	-4.81	-0.55
平成13年 5月 1日	1,000	-418	1,000	-364	-7.84	-0.92
平成13年 6月 1日	1,000	-411	1,000	-357	-7.27	-0.86
平成13年 7月 1日	1,000	-399	1,000	-346	-5.99	-0.71
平成13年 8月 1日	1,000	-376	1,000	-323	-3.22	-0.38
平成13年 9月 1日	1,000	-343	1,000	-291	0.94	0.11
平成13年 10月 1日	1,000	-302	1,000	-251	6.10	0.71
平成13年 11月 1日	1,000	-316	1,000	-264	3.92	0.46
平成13年 12月 1日	1,000	-320	1,000	-268	2.96	0.35
平成14年 1月 1日	1,000	-319	1,000	-267	2.64	0.32
平成14年 2月 1日	1,000	-296	1,000	-244	5.45	0.66
平成14年 3月 1日	1,000	-302	1,000	-250	4.27	0.52
平成14年 4月 1日	1,000	-313	1,000	-261	2.37	0.30
平成14年 5月 1日	1,000	-307	1,000	-255	2.82	0.36
平成14年 6月 1日	1,000	-308	1,000	-257	2.23	0.29
平成14年 7月 1日	1,000	-276	1,000	-224	6.19	0.79
平成14年 8月 1日	1,000	-246	1,000	-194	9.87	1.25
平成14年 9月 1日	1,000	-243	1,000	-191	9.87	1.26
平成14年 10月 1日	1,000	-218	1,000	-165	12.99	1.66
平成14年 11月 1日	1,000	-215	1,000	-162	12.98	1.68
平成14年 12月 1日	1,000	-226	1,000	-173	11.02	1.45
平成15年 1月 1日	1,000	-202	1,000	-148	13.93	1.84
平成15年 2月 1日	1,000	-179	1,000	-125	16.65	2.20
平成15年 3月 1日	1,000	-173	1,000	-118	17.11	2.28

	終身型		有期型		契約月別	年複利
契約日	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	運用実績 (%)	+ 授加 (%)
平成15年 4月 1日		-169	1,000	-114	17.25	2.33
平成15年 5月 1日	1,000	-182	1,000	-128	14.86	2.05
平成15年 6月 1日	1,000	-194	1,000	-139	12.89	1.81
平成15年 7月 1日	1,000	-208	1,000	-154	10.52	1.51
平成15年 8月 1日	1,000	-215	1,000	-162	9.11	1.33
平成15年 9月 1日	1,000	-221	1,000	-168	7.90	1.18
平成15年 10月 1日	1,000	-222	1,000	-169	7.42	1.12
平成15年 11月 1日	1,000	-230	1,000	-178	5.95	0.92
平成15年 12月 1日	1,000	-226	1,000	-173	6.13	0.96
平成16年 1月 1日	1,000	-234	1,000	-181	4.69	0.75
平成16年 2月 1日	1,000	-242	1,000	-190	3.20	0.52
平成16年 3月 1日	1,000	-250	1,000	-199	1.74	0.29
平成16年 4月 1日	1,000	-260	1,000	-209	0.11	0.02
平成16年 5月 1日	1,000	-257	1,000	-206	0.07	0.01
平成16年 6月 1日	1,000	-248	1,000	-196	0.94	0.16
平成16年 7月 1日	1,000	-256	1,000	-204	-0.42	-0.07
平成16年 8月 1日	1,000	-240	1,000	-188	1.20	0.21
平成16年 9月 1日	1,000	-239	1,000	-187	1.00	0.18
平成16年 10月 1日	1,000	-237	1,000	-185	0.84	0.15
平成16年 11月 1日	1,000	-233	1,000	-180	1.06	0.20
平成16年 12月 1日	1,000	-240	1,000	-188	-0.27	-0.05
平成17年 1月 1日	1,000	-250	1,000	-199	-1.94	-0.38
平成17年 2月 1日	1,000	-248	1,000	-197	-2.04	-0.40
平成17年 3月 1日	1,000	-258	1,000	-207	-3.58	-0.73
平成17年 4月 1日	1,000	-256	1,000	-205	-3.76	-0.78
平成17年 5月 1日	1,000	-242	1,000	-190	-2.29	-0.48
平成17年 6月 1日	1,000	-248	1,000	-197	-3.48	-0.74
平成17年 7月 1日	1,000	-256	1,000	-205	-4.79	-1.05
平成17年 8月 1日	1,000	-263	1,000	-213	-6.05	-1.35
平成17年 9月 1日	1,000	-266	1,000	-216	-6.75	-1.54
平成17年 10月 1日	1,000	-289	1,000	-239	-9.85	-2.32
平成17年 11月 1日	1,000	-282	1,000	-232	-9.35	-2.24
平成17年 12月 1日	1,000	-299	1,000	-269	-11.70	-2.88
平成18年 1月 1日	1,000	-309	1,000	-279	-13.29	-3.36
平成18年 2月 1日	1,000	-317	1,000	-287	-14.49	-3.76

契約日		終身型		有期型		契約月別	年複利	
		保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	運用実績 (%)	(%)	
平成18年	3月	1日	1,000	-310	1,000	-281	-14.05	-3.71
平成18年	4月	1日	1,000	-314	1,000	-284	-14.82	-4.01
平成18年	5月	1日	1,000	-310	1,000	-280	-14.64	-4.05
平成18年	6月	1日	1,000	-283	1,000	-252	-11.72	-3.27
平成18年	7月	1日	1,000	-282	1,000	-252	-12.01	-3.43
平成18年	8月	1日	1,000	-280	1,000	-250	-12.03	-3.51
平成18年	9月	1日	1,000	-291	1,000	-281	-13.73	-4.13
平成18年	10月	1日	1,000	-289	1,000	-276	-13.79	-4.25
平成18年	11月	1日	1,000	-290	1,000	-275	-14.19	-4.49
平成18年	12月	1日	1,000	-288	1,000	-271	-14.31	-4.64
平成19年	1月	1日	1,000	-300	1,000	-281	-15.98	-5.35
平成19年	2月	1日	1,000	-305	1,000	-284	-16.86	-5.81
平成19年	3月	1日	1,000	-304	1,000	-281	-17.02	-6.03
平成19年	4月	1日	1,000	-301	1,000	-276	-17.02	-6.20
平成19年	5月	1日	1,000	-304	1,000	-277	-17.66	-6.63
平成19年	6月	1日	1,000	-308	1,000	-279	-18.46	-7.15
平成19年	7月	1日	1,000	-304	1,000	-274	-18.25	-7.28
平成19年	8月	1日	1,000	-289	1,000	-259	-16.84	-6.89
平成19年	9月	1日	1,000	-275	1,000	-245	-15.60	-6.56
平成19年	10月	1日	1,000	-284	1,000	-254	-16.87	-7.36
平成19年	11月	1日	1,000	-282	1,000	-252	-17.03	-7.69
平成19年	12月	1日	1,000	-259	1,000	-229	-14.75	-6.85
平成20年	1月	1日	1,000	-253	1,000	-223	-14.40	-6.93
平成20年	2月	1日	1,000	-215	1,000	-184	-10.48	-5.18
平成20年	3月	1日	1,000	-217	1,000	-186	-11.00	-5.66
平成20年	4月	1日	1,000	-190	1,000	-158	-8.40	-4.47
平成20年	5月	1日	1,000	-217	1,000	-185	-11.63	-6.52
平成20年	6月	1日	1,000	-224	1,000	-193	-12.73	-7.49
平成20年	7月	1日	1,000	-193	1,000	-161	-9.67	-5.92
平成20年	8月	1日	1,000	-185	1,000	-153	-9.17	-5.89
平成20年	9月	1日	1,000	-177	1,000	-145	-8.63	-5.84
平成20年	10月	1日	1,000	-110	1,000	-76	-1.64	-1.16
平成20年	11月	1日	1,000	-35	1,000	0	6.06	4.51
平成20年	12月	1日	1,000	-16	1,000	19	7.74	6.14
平成21年	1月	1日	1,000	-19	1,000	16	7.01	5.98
平成21年	2月	1日	1,000	8	1,000	91	9.66	8.89
平成21年	3月	1日	1,000	10	1,000	140	14.49	14.49

注(1)保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

⁽²⁾ 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成21年2月末までの運用実績を示したものです。 なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

⁽³⁾ 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。